

## 5 / 13 校長室より No.19

今、本校では「読書週間」を実施中ですが、実は今年度、私から教職員にも読書を推奨し、毎月読書記録の提出を求めています。読書は、教員としての知識や技能を獲得するために重要であるばかりでなく、人間としての幅や奥行きを与えてくれて、それが子どもたちにも直接・間接に還元できると考えるからです。

下が4月分の報告をまとめたものです（ジャンルは問わず、コメントを書くかは自由にしています）。「この人がこういう本を読むんだ」という発見もあり、けっこう面白いです。



### 飯豊中の教職員は、今、こんな本を読んでいる！ 《4月》

本の題名	著者名・作者名	出版社	コメント
読書する人だけが たどり着ける場所	齋藤 孝	SB新書	年度始めに改めて読み直しました。読書の効能と本の読み方について書かれています。齋藤孝氏曰く「読書が人生の深みをつくる」
「言葉の力」を感じる時		柿本書房	さまざまな人の作品集です。是非読んでみてください。
古代史謎解き紀行	関 裕二	新潮文庫	難しい漢字の読みが多く出てきて覚えられません。
少林寺拳法 三段の技	少林寺拳法本部		二段までの技を自力でおさらいし、本を読んでいます。技を忘れていたので、くり返し読むでは体に覚えさせています。
2行でわかるサクサク仕事ノート	学識サロンまあ〜	KADOKAWA	
ワンダー	R.J.パラシオ	ほるぷ出版	息子に読んでほしくて読みました。学校で障害を持った友達について考えてほしかったからです。
天才	石原慎太郎	幻冬舎	今まで石原さんの作品を読んだことがなかったので、死去されたこともあり読んでみました。
笑って生ききる	瀬戸内寂聴	中央公論新社	還暦を迎え、これからの人生を考えたときに手に取った1冊です。
くらまやし稼業	今村 翔吾	時代小説文庫	新刊が出なくて残念です。

ペッパーズ・ゴースト	伊坂幸太郎	朝日出版社	
自分らしく生きるための禅	ひろさちや	中経文庫	この作者は先週おなくなりになりました。大変残念です。次の本を期待していました。
強運の持ち主	瀬尾まい子	文藝春秋	昨年夏から瀬尾まい子にはまっています。
いのちのハードル 「1リットルの涙」母の手記	木藤 潮香	幻冬舎文庫	少しずつ読んでいます。
里山の生き物図鑑	千葉 洋明	学研	
そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ	文芸春秋	「美味しい」と「あたたかい」がたくさん詰まったお話です。何度も家族と環境が変わりますが、どの形にも必ず“愛”が存在しています。
戦争の歌が聞こえる	佐藤由美子	柏書房	音楽療法士がホスピスで向き合った内容で綴られている。戦争を別の角度で認識できます。
ICO イコ 一霧の城一	宮部みゆき	講談社	学級文庫に置いていた本です。途中で永久持ち帰りの生徒がいるらしく、これは2回目の購入でした。
武器になる哲学	山口 周	KADOKAWA	
「ゆっくり動く」と 人生が変わる	小林 弘幸	PHP 文庫	良いコンディションで仕事をするために自律神経を整えることがいかに大事か、「ゆっくり」がいかに大事か、改めて考えさせられました。飯豊町の「立腰」の大切さも納得しました。